

バドミントン・秋季大学リーグ戦

昨年上回る4位と健闘

9月10日から19日まで、日体大健志台キャンパス本記念体育館で関東大学バドミントン秋季リーグ戦が行われ、2勝3敗で4位となった。山口佳恵主将(商4・埼玉栄高)は「今年のチームは団結力とまとまりがあり、昨年の5位から順位を上げられることができて良かった。1、2年次生は勝負強いので、一人ひとりが自信を持ってこれれば、どんな試合も勝てるようになるはず。来年こそは団結して、優勝を目指してほしい」とリーグ戦を振り返ると同時に、後輩たちへの思いを語った。(橋本 里恵・文2)



▲大量得点で勝利した東洋大戦(撮影・吉崎)

初戦の朝鮮大戦を47-7で勝ち、2戦目の東洋大戦も波に乗っていきなり専大直後に先制トライを挙げた。「あれで試合のペースがつかめた」と高木敷主将(商4・大阪)は、勝利の喜びを語った。大量得点で勝利した東洋大戦(撮影・吉崎)は、専大は開幕2連勝に開幕し(11月27日まで)と好スタートを切った。

ラグビー・関東大学リーグ戦(2部) 開幕2連勝 好発進

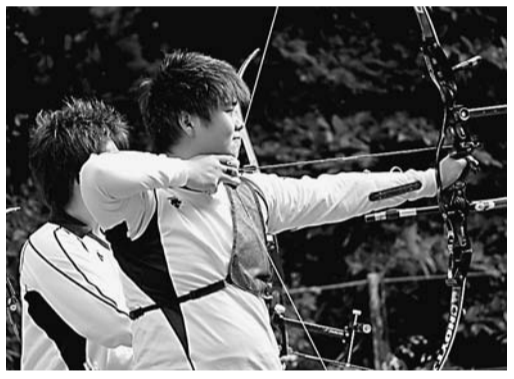
関東大学ラグビーリーグ戦(2部)が9月25日(土)から、専大は開幕2連勝に開幕し(11月27日まで)と好スタートを切った。熊谷グラウンドほ(工大高)が言うように、前半だけで5トライを決めた。後半に入っても攻撃の手を緩めず、浦中俊(経営2・熊本工高)が、後半に決めた。後半に入っても攻撃の手を緩めず、浦中俊(経営2・熊本工高)が、後半に決めた。

剣道・関東学生優勝大会

全日本学生出場決める

9月11日、日本武道館で関東学生剣道優勝大会が開催された。専大は、ベスト32に終わったが、全日本学生剣道優勝大会(10月23日、同会場)以下、全日本)の出場権を賭けた全日本出場決定戦に勝利し、同大会の出場を決めた。1回戦シードの専大は、2回戦で麗澤大と対戦し、5-0で3回戦へ勝ち進んだ。続く筑波大戦は、どちらも譲らぬ戦いとなり、次鋒・吉田育弘(法2・水戸葵陵高)が小手で一本勝ちしたものの、三鋒、中堅を落とす。残りの試合は引き分けとなり、あと一歩及ばず、1-2で4回戦進出を決めた。

アーチェリー部



なかた 翔(経営1・敬和学園高) 中田 翔(経営1・敬和学園高) 今号から、夏期合宿をスタートします。で力をつけ、秋季リーグ戦などでチームに貢献している選手にスポットを当てた短期連載「常に射ち方考えて自分らしさを追求」をスタートします。今、アーチェリー部では、期待のルーキーが早くも頭角を現し始か考えている」と語り、「他の選手の良いところを取り入れつつ、自分らしさを追求している」と自らのスタイルを説明する。春のリーグ戦ではぶれないコンスタントに点数をたたき出してはいたが、目標には達してはなかった。「ある程度ポイントを取れるが、そこからが問題。もう少し点数を上乗せしていきたい」と自身の課題を明かす。(土屋 杏有美・文3)写真も)



特別編

今号から、夏期合宿をスタートします。で力をつけ、秋季リーグ戦などでチームに貢献している選手にスポットを当てた短期連載「常に射ち方考えて自分らしさを追求」をスタートします。今、アーチェリー部では、期待のルーキーが早くも頭角を現し始か考えている」と語り、「他の選手の良いところを取り入れつつ、自分らしさを追求している」と自らのスタイルを説明する。春のリーグ戦ではぶれないコンスタントに点数をたたき出してはいたが、目標には達してはなかった。「ある程度ポイントを取れるが、そこからが問題。もう少し点数を上乗せしていきたい」と自身の課題を明かす。(土屋 杏有美・文3)写真も)

リーグ戦途中経過

- (10月13日現在)
- ◇アメリカンフットボール部
 - ▷関東大学リーグ戦 1勝3敗・勝ち点3
 - ◇サッカー部
 - ▷関東大学リーグ戦 5勝4分4敗・勝ち点19=5位
 - ◇準硬式野球部
 - ▷東都大学準硬式野球秋季リーグ戦 3勝1分5敗
 - ◇バスケットボール部
 - ▷関東大学女子リーグ戦 2勝8敗
 - ◇バレーボール部
 - ▷秋季関東大学リーグ戦 3勝6敗=9位
 - ◇野球部
 - ▷東都大学野球秋季リーグ戦(2部) 5勝5敗・勝ち点2=3位

巻き返しに期待

関東大学バスケットボールリーグ戦が9月3日から代々木第二体育館ほから開幕した。10月9日現在まで、12試合を消化し、4勝8敗と負け越した状態。リーグ終盤を迎えているが、3試合を1ゴール差以内の接戦で落としている。現時点で得点ランキング2位の宇都直輝(経営2・中部大第一高)をはじめ、スタメン個々の能力を見ても決して上位校とひけを取らないメンバーがそろっているが、リズムに乗れないでいる。好不調の波が激しく、一度相手に主導権を握られると、なかなか自分たちのペースに戻すことができない。ただ、かみ合った時の爆発力はリーグでもトップクラスで、このまま終わってしまうチームではない。ここからの巻き返しに期待したい。(青木 宏平・経営2)写真も)

相撲部OBの 嶋田さんが優勝

故・森口忠造総長の遺徳をしのぶ「第39回森口メモリアルゴルフ大会」が9月13日、川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催された。大学関係者、卒業生ら73人が参加し、相撲部OBの嶋田久和さん(昭51法)が優勝に輝いた。



▲チームの得点源である宇都

記録コーナー

- ◇ゴルフ部
 - ▽日本学生選手権水泳競技大会(水球競技)9月15-17日、神奈川県相模原市総合水球場)7位
 - ▽フエニング部
 - ▽関東学生選手権(個人)【男子エペ】上原康士朗(経営2・カライトシユ高)5位【同サーブル】谷口舜太郎(法3)
- ◇卓球部
 - ▽全日本大学総合選手権(個人の部)10月27-30日(新潟市東総合スポーツセンター)
 - ▽バドミントン部
 - ▽全日本学生選手権10月14-20日(愛知県体育館ほか)
 - ▽フエニング部
 - ▽全日本大学対抗選手権・全日本学生個人選手権10月24-28日(駒沢屋内球技場)
 - ◇レスリング部
 - ▽全日本大学選手権11月12、13日(岐阜県東美濃ふれあいセンター)
- ◇バスケット部
 - ▽鹿兒島南高5位女子サーブル)新田優衣(商2・津久見高)5位



▲合気道の精神は世界共通

合気道部・小島主将

8月12日から22日まで、フランスのドルドーニュ県ペルグー市で開催された「第2回ISBA(国際至誠館武道協会)武道講習会」に、合気道部の小島史也主将(経営4・千葉南高)が参加した。ヨーロッパ9カ国から参加者が集まるなか、合気道部では週2回、明治神宮至誠館で稽古を行っており、小島主将は同館から誘いを受け、参加。現地での講習会では、合気道と剣術の稽古が行われ、「参加者のやる気や意欲の強さに驚かされた」と振り返る。また、講習会を通して、「武道を鍛錬する者としての姿勢や考えを深めることができた」と言う。「得たものを後輩に伝えていきたい」と話すように、基軸となる物事の本質、自分の中心を見つめ直すことで、多くの収穫を得たようだ。(山内)

仏・武道セミナーに参加

外国人たちと武道の精神を共有し、普段の稽古では手に入らない、貴重な経験を積んだ。合気道部では週2回、明治神宮至誠館で稽古を行っており、小島主将は同館から誘いを受け、参加。現地での講習会では、合気道と剣術の稽古が行われ、「参加者のやる気や意欲の強さに驚かされた」と振り返る。また、講習会を通して、「武道を鍛錬する者としての姿勢や考えを深めることができた」と言う。「得たものを後輩に伝えていきたい」と話すように、基軸となる物事の本質、自分の中心を見つめ直すことで、多くの収穫を得たようだ。(山内)